

100人の参加クリエイターが決定！
カルチャーを牽引する新進気鋭の女子クリエイターの作品が、渋谷PARCOに集結します

「シブカル^{まつり}祭。～PARCOの女子文化祭～」開催
＜2011年10月28日(金)～11月7日(月) 渋谷PARCOにて＞

株式会社PARCO(所在地:東京都渋谷区、以下PARCO)は、1969年の「池袋 PARCO」オープン以来、ファッションのみならず、音楽やアート、演劇などのカルチャーを積極的に紹介し、さまざまな新しい才能の発見や応援をしてまいりました。このような企業姿勢を、改めて広く伝えていくメッセージ『LOVE HUMAN.』を2010年9月より採用し、広告や企業活動を通じて社内外へ浸透するよう図っています。

イタリア語で「広場・公園」を意味する「パルコ」には、1969年のオープン当初から、先鋭的なテナントやクリエイター、若者たちが集まり、独自のカルチャーを形成してきました。広告では積極的に女性クリエイターや女性モデルを起用し、女性が時代をリードしている様子を表現し続けてきました。

新進気鋭の女子クリエイターの才能が集結し、最先端のエンタテインメントをお届けします！

本イベント「シブカル祭。～PARCOの女子文化祭～」(以下、「シブカル祭。」)は、「人が集う場所=パルコ」という原点に戻り、女性を応援し続けてきた企業として、若手女子クリエイターにパルコという「場」を提供し、表現作品の発表やクリエイター同士の交流の「場」となることを目指しています。

◆タイトル:シブカル^{まつり}祭。～PARCOの女子文化祭～

◆日程:10月28日(金)～11月7日(月)計11日間 ※10月27日(木)前夜祭

◆会場:渋谷PARCO PART1/3F パルコミュージアム、6F パルコファクトリー、公園通り広場、スペイン坂広場ほか、渋谷PARCO館内

◆内容:さまざまなジャンルで活躍する若手女子クリエイター約100組の作品を渋谷PARCOに集結させ、新しい未来を切り開いていく元気な女子パワーで、作品を見た人を元気にする文化祭を開催します！写真やアート作品の展示、観る人も一緒に楽しめるライブ、パフォーマンス、トークショー…型にはまらない彼女たちの“作品”が渋谷PARCO館内の各所に集結します!!!

★参加クリエイターや会期中のイベント情報を随時発信中です！

◎WEB <http://www.shibukaru.com/>

◎twitter http://twitter.jp/shibu_karu

◎Facebook <http://www.facebook.com/shibukarumatsuri>

◆参加クリエイター◆

<映像部>

河野未彩 永瀬沙世
水尻自子 kisimari onnacodomo

<音楽部>

杏窪彌 女王蜂 でんぱ組.inc 南波志帆
パニラビーンズ 宮本りえ
bómi Mayu SHE TALKS SILENCE
tengal6 TWEED GRRRLS CLUB

<写真部>

アシザワシュウ 磯部昭子 市橋織江
植本一子 うつゆみこ 香椎由宇 川瀬一絵
佐野方美 須藤絢乃 関根 綾 高木こずえ
田口まき チェルシー舞花 永瀬沙世
藤原江理奈 村上友重 ikumi Julie Watai
kisimari MARCO MARIKO

<デザイン部>

いすたえこ(NNNNY) えぐちりか 大谷有紀
夢眠ねむ Chim ↑ Pom

<デジタル部>

まつゆう*

<パフォーマンス部>

うさぎのなみ平
篠崎芽美(珍しいキノコ舞踊団)
ほうほう堂 ホナガヨウコ
KATHY tokyo DOLORES

<美術部>

愛☆まどんな 秋 赤音 有本ゆみこ
小野志乃美(Her Ghost Friend) 葛西絵里香
小林エリカ さとうかよ 篠原奈美子
ステレオテニス 菱沼彩子 ホナガヨウコ
本田アヤノ 松井えり菜 松元久子 美波
毛利悠子 渡辺真子♡まこぶり
Chim ↑ Pom EKKO KATHY
KYOTARO Ly RE:RE:RE:majajo ...

<モード部>

Shueh Jen-Fang(Jenny Fax)

<もの作り部>

絵子・高橋 綾(NEON OPERA TOKYO)
大石さちよ(cikolata) 大川 恵(KAM.) 大谷有紀
岡野ハルコ(HARGOZA) 岡野リエ(bohem)
木原佐知子(sunshine to you!)
小林七生(WRONG MY JESUS)
高橋ひろみ(Hi-CORAZON) 林 宏美(Romei)
楓美 真崎桃子・戸倉里奈(CHEESY'S)
マロツタ忍(talkative by igo)
宮城春菜(Where is Alice?) aica(SOWA)
Chihiro Baba JUCO. mafuyuu
moe(Joy!-tiny twee accessory-) nuico

<料理部>

安全ちゃん
中山晴奈(フードデザイナーズネットワーク)
モコモシ(小沢朋子) 山フーズ(小松山聡子)
MOTENA-table journey- O-kitchen
SUNDAY BAKE SHOP(嶋崎かづこ)

...and more!!

※参加クリエイター名は50音順、アルファベット順です。参加クリエイターは変更となる場合がございます

<本件に関するお問合せ先>

株式会社PARCO ストアプロモーション部 櫻井 saku-ai@parco.jp 小野 ono-jun@parco.jp

★「シブカル祭。」概要★

「シブカル祭。」は、10 カテゴリーの部と、100人の部員クリエイターで開催する、女子の、女子による文化祭です。参加クリエイターは、時代を牽引してきた各界を代表するメンバーから成る実行委員が推奨する、若くて元気のある女子クリエイター。それぞれの作品の展示、発表や、週末のライブなどで彼女たちの才能に触れることができます。

◇主な部活動内容◇

部名	活動場所	主な活動内容
写真部	PART1・6F パルコファクトリー	会場内で写真作品を展示。
美術部	PART1・3F パルコミュージアム他	立体オブジェ、絵画等各種作品を展示。その他、会場内で開催されるトークショー用のステージ装飾(さとうかよ)や、会場外での大型作品展示(篠原奈美子:10/28~)、PART1 壁面でのウォールペインティング(Ly、愛☆まどんな)等実施予定。
音楽部	クラブクアトロ、公園通り広場	てんば組 inc. 杏窪彌(10/27 前夜祭)、南波志帆、tengal6 (10/28)、バニラピーンズ(10/29)ほか、毎週土・日に公園通り広場にてライブ実施予定。 「シブカル祭。」音楽部発表会(11/1@クラブクアトロ 17:30 開演):前売 2,000 円(税込、ワンドリンク付)10/8 発売開始。出演:女王蜂、住所不定無職、フレネシ、SHE TALKS SILENCE。
映像部	PART1・3F パルコミュージアム、PART3・8F シネクイント、クラブクアトロ	制作した映像作品をシネクイントや館内デジタルサイネージ、シブヤテレビジョンなど館内外にて上映。「シブカル祭。」音楽部発表会(11/1)ではVJとして参加(河野野彩、onnacodomo)。
料理部	スペイン坂広場(10/28~30 予定)、公園通り広場(11/3~6 予定)、PART1・7F マーベラス	フード作品をケータリングカーにて販売する「シブカル屋台(仮)」の登場。その他、安全ちゃんプロデュースによる「肉食宇宙食堂(仮)@PART1・7F マーベラスもあり。
モード部	公園通り広場特設ステージ	ファッションブランド「Jenny Fax」によるファッションショー(10/30):特設ステージ、PART1 店内をモデルがウォーキング。
デザイン部	PART1・6F パルコファクトリー	館内外に掲出の「シブカル祭。」ポスター制作及び展示。また、クリエイター5人による5種類のポスターを館内に掲出。
デジタル部	—	まつゆう*の Ustream 配信による、「シブカル祭。」前夜祭実況中継を実施(10/27)
もの作り部	PART1・1F 特設会場	20組のクリエイターによる、雑貨などのオリジナル作品の展示・販売。
パフォーマンス部	公園通り広場特設ステージ	tokyo DOLORSC(10/27 前夜祭)、うさぎのなみ平(10/29)、ホナガヨウコ(11/3)らによるパフォーマンスなど。

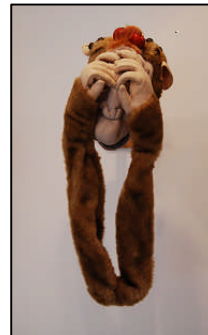
★その他、スプツニ子が参加するトークショーも開催(10/28@PART1・3F パルコミュージアム)



©Sayo Nagase



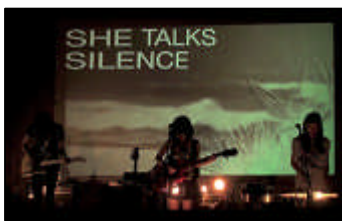
©Namiko Shinohara



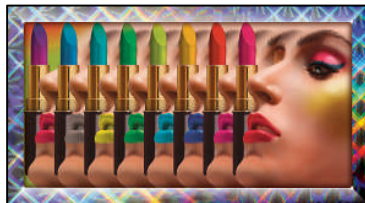
©Kayo Sato



©Ly



©SHE TALKS SILENCE



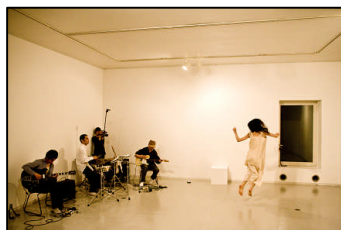
©Midori Kawano



©O-kitchen



©Jenny Fax/2nd season image photo by Daniel Sannwald/model!笠木はるか



©Yoko Hanaga



©女王蜂



©tokyo DOLORSC

※内容や参加アーティストは変更となる場合がございます。掲載画像は、本イベントの展示内容と異なります。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社パルコ スタブプロモーション部 櫻井 saku-ai@parco.jp 小野 ono-jun@parco.jp

★バルコ注目のクリエイター★

今回の参加者の中から、バルコが特に注目する2名の創作活動や「シブカル祭。」に対する思いなどをご紹介します。

エリイ (Chim ↑ Pom)

・・・2005年に6名で結成されたアート集団「Chim ↑ Pom」の紅一点。

失敗してもいいから、前に進むべき。人のことを幸せにすることが、自分の幸せにつながる。自分の心に素直に向いてみて、何が好きかっていうのを、レーダーのように探し当てるのがいいと思う。で、あ、あったみたいなところを、ちょっとずつ育てていく。私からアートをとったら何も無い。何も無いから、やるしかない。

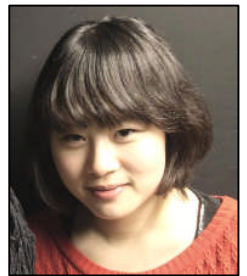


Shueh Jen-Fang シュエ・ジェンファン (Jenny Fax デザイナー)

・・・2007年坂部三樹郎とともに「MIKIO SAKABE」を設立。2010年には自身のブランド「Jenny Fax」をスタートさせた気鋭のファッションデザイナー。

「シブカル祭。」は今の東京をリアルに反映したカッティング・エッジなイベントになりそうで今からとても楽しみです。「オタク」さえもがポジティブなステータスの一つになってしまった東京は世界的に見てもとてもカオティックです。ラインナップされている他の参加者の名前を見れば一目瞭然ですよ。そしてそんなイベントがユースカルチャーの聖地であり続ける渋谷バルコで行われるということ。

私はこのイベントにファッションヴィクティムな女の子でもなければアートコンシャスな女の子でもない、普通の女の子達に来てほしいと思っています。これはアートフェアでもファッションウィークでもない、ただ少しモダンなお祭り。日に日に混ざりあってゆく、そんな今の東京に新しい可能性を感じずにはられません。



★若者を応援=広告する新しいタイプのCFをオンエア～全種類すべて異なる内容です★

バルコでは、「シブカル祭。」に参加するクリエイターたちのさまざまな表情や思いを伝える60秒シリーズのTVCFをオンエアいたします。CFの内容は被写体となるクリエイターたちによって異なり、ひとつとして同じCFはありません。彼らのいまを切り取った60秒は、その才能や情熱を伝えていくだけではなく、若者を応援するバルコの企業姿勢を表現しています。

期 間 :2011年10月～2012年3月末 ※初回オンエア:2011年10月4日(火)

時 間 :毎週火曜 24:15～テレビ東京「極嬢チカラ」放送内(60秒)

内 容 :

「シブカル祭。」に参加する若手クリエイターたちの姿を伝えることで、若者を応援する気持ちを表現します。

Chim ↑ Pomのエリイ(10/4、10/11 オンエア)を皮切りに、若手クリエイターたちの才能や情熱を伝えます。

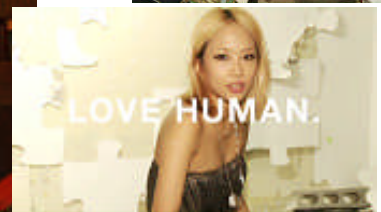
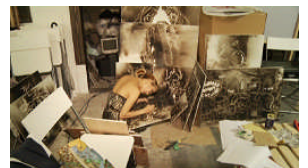
制 作 本 数 :10～15種類

制 作 作 :すき/あいたい/ヤバい

※10/5よりWEBで未公開カットを含むCM集を見ることができます！

◎詳細URL

http://www.parco.co.jp/parco/love_human/



参考資料**◆『LOVE HUMAN.』とは**

2010年9月よりコーポレートメッセージとして採用している『LOVE HUMAN.』は、1969年の「池袋PARCO」誕生以来、ファッションのみならず、音楽やアート、演劇などのカルチャーを積極的に紹介し、さまざまな新しい才能の発見やその応援をしてきた企業姿勢を表しています。また、PARCOは都市のライフスタイルプロデューサーとして、その時代ごとに「コト」「モノ」「サービス」を融合させた、心豊かな生活を提案する店づくりをしてまいりました。『LOVE HUMAN.』というメッセージには、いまの時代を見つめ直したときに、改めて、自信を持って未来を切り開いていく才能のある人たちを応援していく企業としての想いを込めています。

PARCOでは、このメッセージをすべての活動の根底に携え、テナント運営やイベント企画などを行っております。

<関連企画の一部紹介>**【次世代の才能発掘】****◎若手ディレクターによる自主編集ショップ『once A month』 渋谷PARCOに期間限定オープン**

■ オープン日:2011年9月15日(木)

■ 場所:渋谷PARCO PART1/B1F

2010年3月に福岡PARCOにて1号店をスタートした、PARCO初の自主編集ショップ『once A month』が、渋谷PARCOに期間限定で登場します。『once A month』は国内外で活躍する3名の若手ディレクターが月に1回季節のテーマを設けて、「クリエイション力のある若手作家」「小粒だけどキラッと光るメーカー」「季節が限定される旬商材」等を編集して販売していくショップです。

渋谷PARCOでは『二倍速』というコンセプトのもと、月2回の作家・デザインテーマで運営していきます。

<広告・宣伝>

2011年5月に新聞広告や店内ポスター等で展開した広告には14歳の新人モデルを起用し、まだ世に知られていない新しい才能にスポットをあてました。また、震災の被害にあった仙台PARCOの前で、仙台PARCOのテナントスタッフらとともに撮影した広告には、「人と人との絆を大切にし、力をあわせて復興させよう」というメッセージも込めています。



第1弾ポスター



第2弾ポスター